

静岡県月例経済報告

(令和6年5月号)

……令和6年3月を中心とした県内経済のすがた……

No. 577



— 静岡県経済産業部 —

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	7
・ 需要面	7
・ 生産面	15
・ 雇用面	17
・ その他	20
III 静岡県主要産業の動向	24
IV データからみた県内主要産業	27

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryoku/getsureihoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和6年3月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和6年3月を中心とした静岡県の景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される。ただし、雇用・所得環境や海外経済の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きにやや弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、持ち直しに足踏みがみられる。
- ・ 設備投資は、増加している。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、弱めの動きとなっている。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、持ち直しに足踏みがみられる」

大型小売店販売額(3月)は、百貨店が6か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパーが2か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(3月)は、コンビニエンスストアが2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が8か月ぶり、ドラッグストアが35か月連続、ホームセンターが4か月ぶりに前年実績を上回ったため、総額でも27か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(3月)は、乗用車が4か月連続、軽自動車が5か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも4か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(3月)は、貸家が2か月連続で前年実績を上回ったものの、持家が2か月連続、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を下回ったため、総数でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(3月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

「設備投資は、増加している」

日銀短観(3月調査)の令和5年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（3月）は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

「輸出は、おおむね横ばいとなっている」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額（3月）は、自動車の部分品が9か月連続、科学光学機器が3か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機が6か月連続、エアコンが10か月連続、自動車が15か月ぶり、二輪自動車類が6か月ぶりに前年実績を下回ったため、総額でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

また、輸入総額（3月）は、原動機が4か月連続、自動車の部分品が12か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品、木材、パルプがいずれも2か月ぶり、紙類及び同製品が2か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,228億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、弱めの動きとなっている」

鉱工業生産指数（3月）は、業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械、化学、パルプ・紙・紙加工品がいずれも3か月ぶり、電気機械が4か月連続、輸送機械が2か月ぶり、食料品・たばこが10か月連続で前年水準を下回ったため、総合でも2か月ぶりに前年水準を下回った。また、前月比は2か月ぶりに減少した。

なお、鉱工業在庫指数は、総合では2か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きにやや弱さがみられる」

有効求人倍率（3月）は1.18倍となり、前月を0.02ポイント下回った。全国値を0.10ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員（3月）は、12か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（2月）は、2か月連続で前年実績を上回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（2月）は、前年同月比 0.4%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（3月）は、前年同月比 8.9%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回った」

企業倒産（3月）は、件数は18件（前年同月比 40.0%減）と前年実績を下回り、負債総額は4,633百万円（同 26.2%増）と前年実績を上回った。

<トピックス>



浜名湖花博2024

LAKE HAMANA HANAHAKU 2024

浜名湖ガーデンパーク会場

2024年

4/6 **土** - 6/2 **日**

9:30~17:00

はままつフラワーパーク会場

2024年

3/23 **土** - 6/16 **日**

9:00~17:00

入場券
好評発売中

入場料

入場料	普通入場券				セット入場券				期間パスポート			
	大人		小・中学生		大人		小・中学生		大人		小・中学生	
	前売	当日	前売	当日	前売	当日	前売	当日	前売	当日	前売	当日
浜名湖ガーデンパーク	600円	800円	300円	400円	1,200円	1,700円	600円	850円	2,400円	3,200円	1,200円	1,600円
はままつフラワーパーク	700円	1,000円	350円	500円	—	—	—	—	—	—	—	—

※はままつフラワーパークは、東海地方の観光資源を最大限に活用し、はままつフラワーパークで楽しむことができます。入場料は、通常の入場料とは異なります。入場料は、通常の入場料とは異なります。入場料は、通常の入場料とは異なります。

主催・お問い合わせ | 浜名湖花博20周年記念事業実行委員会 | 〒430-0929 浜松市中区中央1丁目12-1 (浜松総合庁舎5階) | 受付時間：月曜～金曜 8:30～17:00、土日・前日除く | 浜名湖ガーデンパーク会場に関すること | 浜名湖花博2024実行委員会 TEL: 053-482-7350 | はままつフラワーパーク会場に関すること | 浜松市緑政課 TEL: 053-457-2565

浜名湖花博2024 検索



静岡県の試験研究に力を！ クラウドファンディングで応援してください！

静岡県では試験研究費の水準を維持・拡充するとともに
試験研究機関の取組みを広く知っていただくため、
クラウドファンディングを活用した研究資金を募集します。

2024年

静岡県 クラファン研究



5/10(金) ~ 7/10(水)

大切な人を救う
【抗がん剤】を創りたい！

目標金額
150万円

免疫のブレーキを
解除する化学物質で
新しい抗がん剤を
創ります！



プロジェクトの
詳細・御支援は
こちら



静岡県環境衛生科学研究所

目指せ！
駿河湾の海藻で
アレルギー改善！

目標金額
100万円

駿河湾の海藻から
免疫バランスを整え
アレルギー抑制に
繋がるものを探索
します！



プロジェクトの
詳細・御支援は
こちら

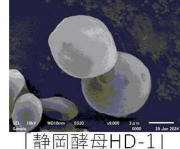


静岡県工業技術研究所

新しい静岡酵母を
開発して吟醸香豊かな
静岡県産清酒を国内外に
届けたい！

目標金額
100万円

フルーティーでキレの良い清酒を製造する
ための新しい静岡酵母の開発に取り組みます！



プロジェクトの
詳細・御支援は
こちら



静岡県工業技術研究所沼津工業技術支援センターバイオ科

【皆様の好みに合わせた
ニジマスを作ります！】
静岡県産ニジマスの
「おいしさ辞典」をつくる

目標金額
100万円

好みの味や料理方法に合わせたニジマス
をお選びいただけるよう、味の特徴を正確に
伝える方法を開発します！



プロジェクトの
詳細・御支援は
こちら



静岡県水産・海洋技術研究所、水産・海洋技術研究所富士養鰯場

7月に収穫できる
食味の優れた
「極早生ナシ」を
皆様に届けたい！

目標金額
100万円

新たな極早生ナシの品種登録に向けた調査と
母樹園の整備を行います！



プロジェクトの
詳細・御支援は
こちら



静岡県農林技術研究所果樹研究センター果樹加工技術科

プロジェクトの詳細はこちらをご覧ください。

静岡県公式HP

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/kenyukaihatsu/fujinokunikenkyujo/1054619.html>



【お問い合わせ先】 静岡県経済産業部 産業イノベーション推進課 TEL.054-221-2609

<トピックス>

空港からありがとうを込めて!

いこー 15!

さあ、

COJI-COJI
©さくらももこ

富士山
静岡空港

15周年祭

2024/6/1(土)2(日) & 8(土)9(日)
各日10:00~16:00 富士山静岡空港ターミナルビルほか

イベント詳細は
特設ページへ!

各種公式 SNS
でも配信中!

静岡空港 15周年

 富士山静岡空港
Mt. Fuji Shizuoka Airport

<トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

① 県制度融資の申込状況

(令和6年5月21日時点)

区分		申込状況		
		金額	件数	業種別の状況
R2 ～5	新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12～4.17終了】	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%、運輸業2.9%等
	国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1～R3.3.31】	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、運輸業2.9%、宿泊・旅行業1.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28～R6.3.31】	億円 949	件 6,313	建設業32.1%、卸小売業18.7%、製造業15.0%、飲食業7.5%、運輸業3.5%、宿泊・旅行業1.5%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R3.4.1～R6.3.31】	億円 1,713	件 9,756	建設業25.6%、卸小売業21.7%、製造業21.4%、飲食業8.2%、運輸業3.9%、宿泊・旅行業1.6%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R3.4.1～R6.3.31】	億円 45	件 177	製造業45.2%、卸小売業20.9%、建設業9.0%、運輸業8.5%、飲食業2.3%、宿泊・旅行業2.3%等
R6	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R6.4.1～】	億円 102	件 600	建設業29.5%、製造業21.2%、卸小売業18.2%、飲食業7.3%、運輸業3.8%、宿泊・旅行業0.8%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R6.4.1～】	億円 0	件 0	
計		億円 13,207	件 78,670	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9～H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4～H24.3：1年間)

② 県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート) 前年同月比の推移

(%)

区分	R5年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年 1月	2月	3月
農・林・漁	▲22.7	▲22.0	▲31.0	▲3.9	▲28.3	▲24.4	▲0.7	▲24.6	▲18.3	27.4	▲13.1	9.2
建設業	▲8.5	▲7.0	▲3.9	▲9.9	▲2.0	1.2	▲16.9	1.1	16.5	8.3	8.2	▲4.7
製造業	▲4.8	▲13.4	▲17.4	▲12.8	▲17.7	▲13.8	▲15.0	▲12.8	▲10.4	▲10.5	▲10.9	▲7.9
卸売・小売業	19.1	2.6	▲3.5	14.6	▲16.8	▲16.6	24.1	▲10.4	▲35.2	37.1	▲13.3	▲44.9
金融、保険 不動産業	▲13.7	18.4	▲2.9	▲6.1	12.1	▲3.9	▲17.3	5.3	17.9	4.2	10.3	10.1
運輸業	9.6	▲2.6	▲5.3	▲3.2	▲4.2	▲10.7	▲1.9	▲5.7	14.9	▲9.6	7.2	6.6
情報通信業	▲6.6	17.6	▲22.3	7.0	7.1	▲15.5	18.3	1.9	21.8	22.2	16.0	▲15.4
飲食、宿泊 サービス業他	▲5.1	16.4	0.3	▲17.8	2.7	▲1.6	▲3.8	▲12.5	3.3	▲8.8	▲1.4	▲1.4
県全体	0.4	▲0.8	▲6.6	▲2.4	▲6.0	▲10.4	▲1.4	▲4.8	▲4.9	1.8	▲3.7	▲11.5

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R5年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年 1月	2月	3月
農・林・漁・鉱業	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
建設業	2	2	2	8	6	7	2	1	2	2	5	6
製造業	3	3	2	5	2	4	6	2	8	5	0	3
卸売・小売業	4	3	4	5	2	6	2	9	5	3	1	6
金融、保険 不動産業	0	2	0	2	0	3	0	1	0	0	1	0
運輸業	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	0	0
情報通信業	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
飲食、宿泊 サービス業他	2	6	7	4	5	8	4	4	3	4	2	2
県全体	11	17	15	24	15	31	17	19	19	15	9	18
うちコロナ 関連倒産	8	2	9	5	4	5	4	6	10	3	1	2

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

3月 = 38,742百万円

*前年同月比： 3.6%増

(県内3百貨店、160スーパー合計)

<概況>

3月の大型小売店販売額は38,742百万円で、前年同月比 3.6%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 1.4%減）が6か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパー（同 4.6%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（同 4.1%減）が4か月連続、身の回り品（同 1.8%減）が7か月連続で前年実績を下回ったものの、飲食料品（同 4.6%増）が3か月連続、家庭用品（同 10.5%増）が9か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は6.2%増と、3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
販売額(百万円)	37,948	35,452	37,583	37,605	46,496	38,659	34,996	38,742
前年同月比(%)	1.9	0.3	▲0.2	0.9	▲2.3	▲0.8	1.8	3.6
うち百貨店(%)	8.0	0.2	▲7.0	▲2.4	▲3.4	▲3.1	▲2.7	▲1.4
スーパー(%)	1.0	0.3	1.1	1.6	▲2.1	▲0.3	2.6	4.6
(参考1)全国前年同月比(%)	6.0	4.5	3.7	4.4	2.5	3.3	7.2	6.4
うち百貨店(%)	12.0	9.4	6.3	7.7	5.8	7.8	13.7	9.8
スーパー(%)	4.2	2.8	2.8	3.1	1.1	1.7	4.9	5.1
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	4.1	2.5	2.2	3.4	▲0.2	1.8	4.3	6.2

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
衣料品	0.2	▲3.7	▲3.7	3.1	▲7.4	▲2.3	▲1.6	▲4.1
うち紳士服・洋品	8.4	▲0.5	2.7	13.2	▲10.2	▲4.8	0.0	▲5.6
婦人・子供服・洋品	▲1.6	▲3.5	▲5.1	▲0.3	▲5.6	▲0.4	▲1.6	▲3.3
身の回り品	23.3	▲6.2	▲18.3	▲11.9	▲21.0	▲20.6	▲17.0	▲1.8
飲食料品	1.0	0.5	0.8	0.6	▲1.0	0.3	2.7	4.6
家庭用品	▲6.5	▲5.2	▲5.0	▲3.5	▲5.2	▲3.4	▲0.3	10.5
うち家庭用電気機械器具	▲6.7	▲6.0	▲8.5	7.0	▲3.0	▲5.7	1.6	7.7

(注)店舗数調整済、全月速報値

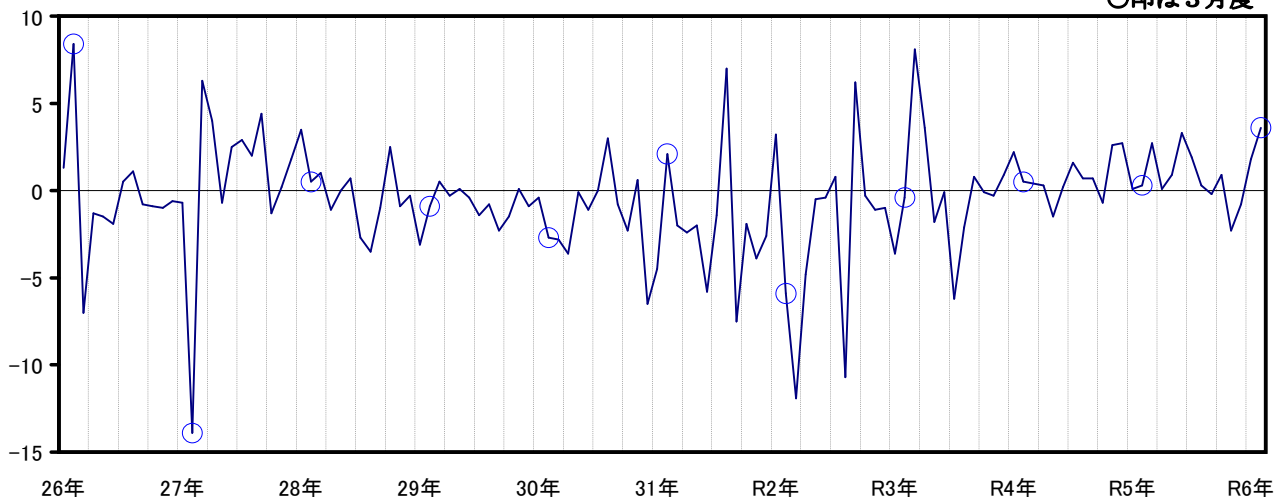
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は3月度



(2) 専門量販店等販売額

3月 = 80,428百万円

*前年同月比：3.4%増

(県内93家電大型専門店、1,655コンビニエンスストア、609ドラッグストア、110ホームセンター合計)

<概況>

3月の専門量販店等販売額は80,428百万円で、前年同月比3.4%増となり、27か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、コンビニエンスストア（前年同月比0.5%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同4.0%増）が8か月ぶり、ドラッグストア（同6.7%増）が35か月連続、ホームセンター（同4.1%増）が4か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
販売額（百万円）	80,673	76,136	77,087	74,993	86,114	74,586	70,910	80,428
前年同月比（%）	2.0	2.9	2.5	3.2	0.1	0.3	3.9	3.4
うち 家電大型専門店（%）	▲2.8	▲3.4	▲10.2	▲1.7	▲8.7	▲10.3	▲7.4	4.0
コンビニエンスストア（%）	1.3	0.6	0.7	0.6	▲0.3	▲0.1	3.6	▲0.5
ドラッグストア（%）	5.6	9.0	10.0	6.7	5.6	4.6	8.7	6.7
ホームセンター（%）	▲3.1	▲2.2	▲3.2	5.8	▲5.0	▲1.0	▲0.6	4.1
(参考)全国前年同月比（%）	5.7	4.5	3.2	3.4	2.4	1.6	5.6	4.1

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

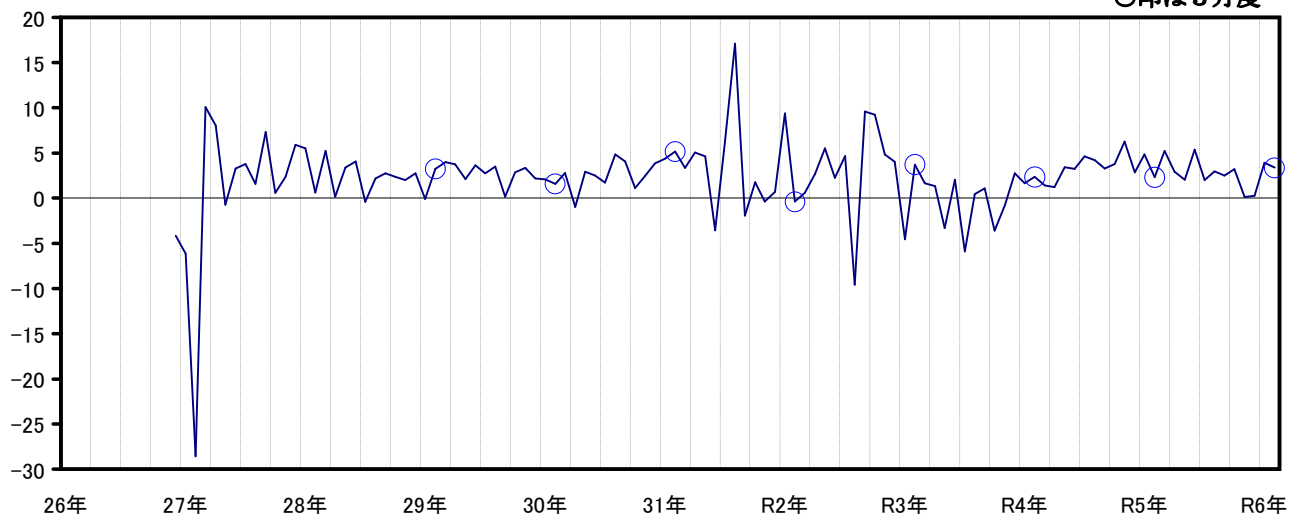
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省

○印は3月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数 **3月 = 15,695台**

*前年同月比：20.9%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

3月の自動車(新車)新規登録台数は15,695台で、4か月連続で前年実績を下回った。
車種別にみると、乗用車(前年同月比16.2%減)が4か月連続、軽自動車(同26.5%減)が5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
登録台数(台)	11,120	14,721	13,569	14,028	12,336	12,364	12,779	15,695
前年同月比(%)	12.6	11.7	4.5	0.0	▲8.2	▲13.7	▲19.4	▲20.9
(参考)全国前年同月比(%)	19.8	11.8	13.1	11.7	6.1	▲10.8	▲16.2	▲19.6

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移> (単位：%)

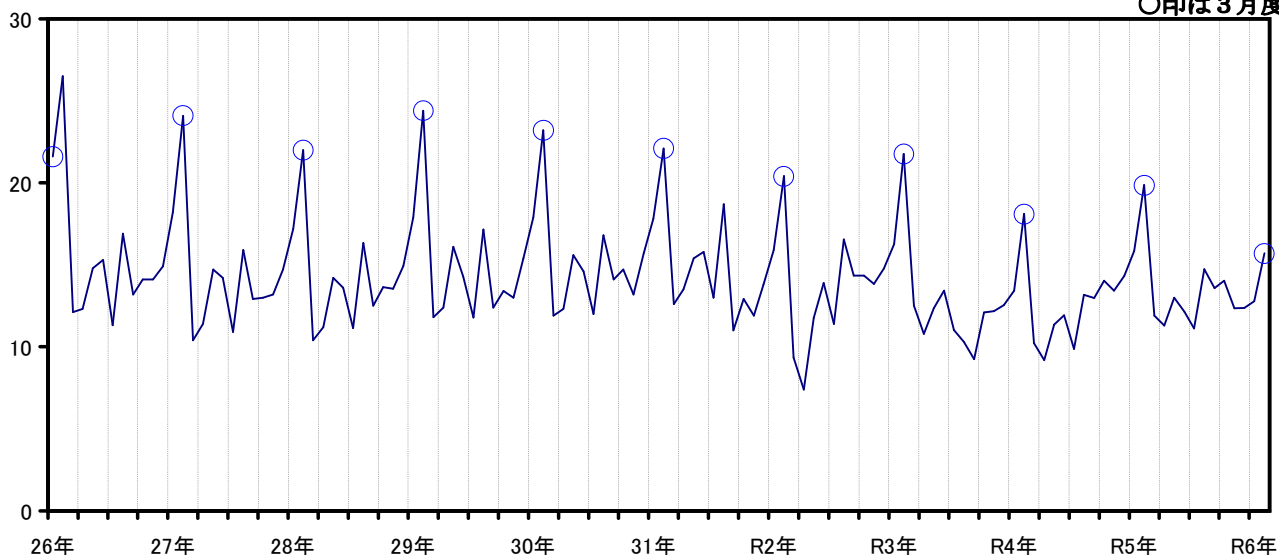
	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
全乗用車	12.6	11.7	4.5	0.0	▲8.2	▲13.7	▲19.4	▲20.9
乗用車	12.9	10.6	4.2	7.2	▲3.2	▲5.4	▲13.6	▲16.2
軽自動車	12.3	12.9	4.8	▲6.9	▲13.5	▲21.6	▲25.6	▲26.5

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は3月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

3月 = 1,598 戸

*前年同月比： 3.5%減

<概況>

3月の新設住宅着工戸数は1,598戸で、前年同月比 3.5%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、貸家（前年同月比 15.6%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、持家（同 19.5%減）が2か月連続、分譲住宅（同 7.8%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
戸数（戸）	2,028	1,575	1,412	1,452	1,512	1,316	1,552	1,598
前年同月比（%）	17.2	0.6	▲ 14.0	▲ 13.8	▲ 9.9	▲ 15.3	2.8	▲ 3.5
うち持家（%）	▲ 3.2	▲ 1.8	▲ 17.6	▲ 14.0	▲ 18.7	2.2	▲ 7.9	▲ 19.5
貸家（%）	63.5	24.7	▲ 24.2	▲ 11.0	▲ 19.9	▲ 12.1	41.0	15.6
分譲住宅（%）	2.2	▲ 28.4	21.7	▲ 18.5	32.9	▲ 47.2	17.3	▲ 7.8
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 9.4	▲ 6.8	▲ 6.3	▲ 8.5	▲ 4.0	▲ 7.5	▲ 8.2	▲ 12.8

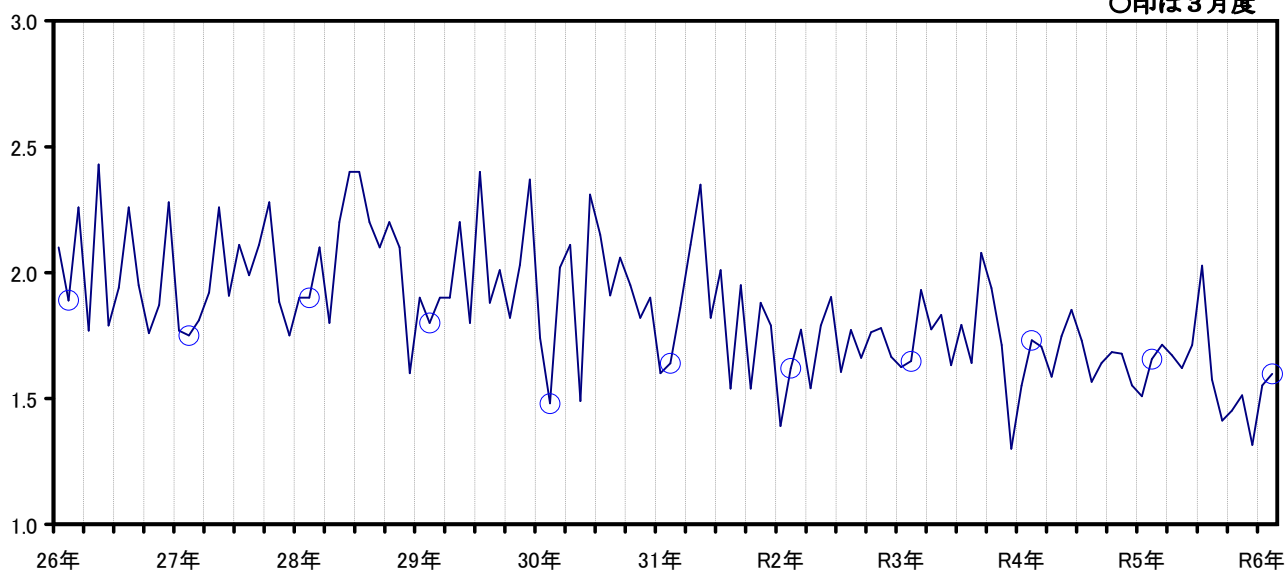
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は3月度



3 公共工事請負金額

3月 = 23,122百万円

*前年同月比：23.0%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

3月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は23,122百万円で、前年同月比23.0%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は405件で、前年同月比35.4%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
金額(百万円)	26,199	33,777	20,383	18,433	15,407	17,962	14,224	23,122
前年同月比(%)	▲28.9	▲6.5	▲18.0	43.3	21.5	65.5	▲26.1	▲23.0
年度累計前年同月比(%)	0.1	▲1.0	▲2.7	▲0.4	0.6	3.1	1.2	▲1.0
件数(件)	755	928	724	616	456	277	192	405
前年同月比(%)	▲6.4	▲11.1	3.0	18.9	8.3	▲8.0	▲39.2	▲35.4
年度累計前年同月比(%)	3.7	0.2	0.6	2.3	2.7	2.2	0.2	▲2.9

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
国	7.7	11.8	▲56.5	▲5.3	▲76.2	52.2	65.8	7.6
独立行政法人等	▲99.5	161.4	▲99.0	▲16.4	▲86.2	1,328.9	-	▲87.3
県	▲21.3	▲20.5	6.4	37.6	53.2	▲21.5	▲24.0	▲36.6
市町	▲6.9	0.4	6.0	27.8	82.2	187.5	▲59.7	▲21.8
地方公社	▲6.9	-	-	-	-	-	-	-
その他	▲83.2	16.9	-	2,344.2	277.6	▲48.2	▲24.2	17.5

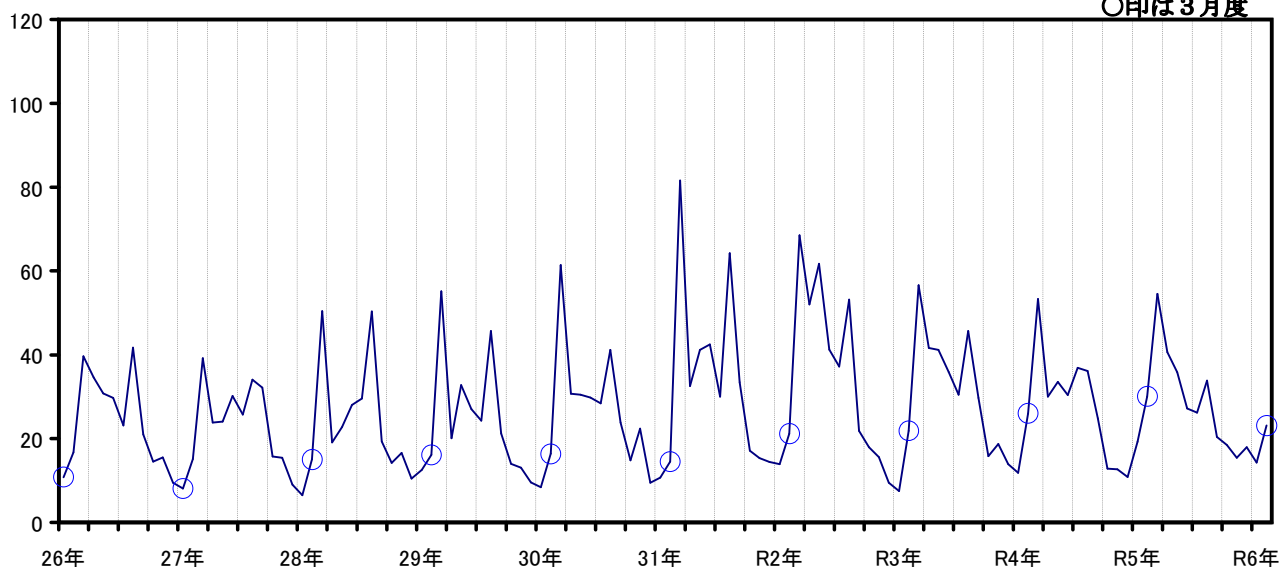
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は3月度



4 設備投資

<概況>

令和5年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

令和6年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 22.1%増）で増加、非製造業（同 4.9%減）で減少し、全産業（同 9.8%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 8.7%増）で増加、非製造業（同 3.2%減）で減少し、全産業（同 6.0%増）では増加する計画となっている。

3月の着工建築物床面積（非居住用）は68,223㎡で、前年同月比 36.4%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比%（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

		R5年度 (計画)	R6年度 (計画)
全産業	県	(▲5.1) 10.1	9.8
	全国	(▲1.0) 10.7	3.3
製造業	県	(▲10.9) 12.8	22.1
	全国	(▲3.3) 9.4	8.2
非製造業	県	(2.9) 7.0	▲4.9
	全国	(0.4) 11.6	0.5

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R5年度 (計画)	R6年度 (計画)
全産業	県	(▲1.6) 11.5	6.0
	全国	(▲1.9) 10.2	4.5
製造業	県	(▲2.5) 13.3	8.7
	全国	(▲1.9) 8.6	5.1
非製造業	県	(1.7) 5.9	▲3.2
	全国	(▲1.8) 11.9	3.9

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和6年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和6年3月調査)」

<最近の動き>

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	83,901	52,555	108,519	255,946	103,727	85,946	263,055	68,223
前年同月比（%）	▲1.5	▲33.3	▲37.1	76.8	▲37.6	▲27.8	302.5	▲36.4
（参考）全国前年同月比（%）	▲11.5	0.8	28.4	▲9.8	1.0	▲16.1	▲13.0	15.7

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	R5年12月	R6年3月	R6年6月 (予測)
全産業	12	7	6
製造業	9	▲1	▲1
非製造業	15	14	14
（参考）全国・全産業	13	12	9

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和6年3月調査)」

5 輸出

3月 = 225,656百万円

*前年同月比： 4.1%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸出総額は225,656百万円で、前年同月比 4.1%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、自動車の部分品（前年同月比 12.0%増）が9か月連続、科学光学機器（同 8.8%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 10.6%減）が6か月連続、エアコン（同 73.9%減）が10か月連続、自動車（同 24.4%減）が15か月ぶり、二輪自動車類（同 10.7%減）が6か月ぶりに前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（同 5.5%増）が2か月ぶり、米国向け（同 5.6%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、EU向け（同 27.0%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
輸出総額(百万円)	199,106	230,788	250,121	238,157	235,745	188,141	226,334	225,656
前年同月比(%)	▲4.8	7.5	0.6	▲2.7	▲5.0	5.0	7.6	▲4.1

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
原動機	▲14.2	21.2	▲11.8	▲0.3	▲25.1	▲19.3	▲16.8	▲10.6
エアコン	▲12.5	▲36.6	▲43.7	▲51.1	▲73.2	▲74.3	▲74.0	▲73.9
自動車	69.4	65.9	133.3	76.0	36.6	45.7	103.4	▲24.4
自動車の部分品	18.2	49.0	39.2	29.2	37.4	16.4	41.9	12.0
二輪自動車類	▲36.5	▲3.8	15.0	20.9	11.1	10.3	29.5	▲10.7
科学光学機器	9.1	▲15.1	▲1.9	▲8.6	▲12.3	4.2	15.0	8.8

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
アジア	▲8.0	▲9.0	▲10.1	▲6.1	▲3.1	12.0	▲0.8	5.5
米国	▲15.3	11.2	▲5.2	▲6.1	▲8.5	▲12.7	0.4	5.6
EU	9.4	22.7	25.7	6.4	▲6.1	8.6	25.7	▲27.0

<資料>清水税関支署

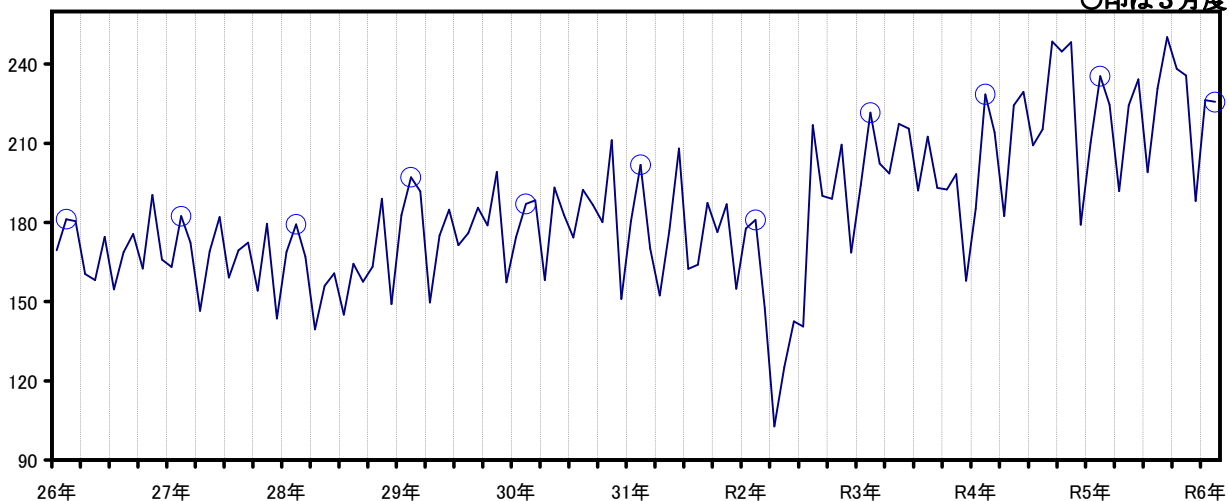
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津)の各出張所及び下田監視所含む、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は3月度



6 輸入

3月 = 102,886百万円

*前年同月比： 22.8%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸入総額は102,886百万円で、前年同月比 22.8%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 20.7%増）が4か月連続、自動車の部分品（同 31.9%増）が12か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品（同 6.6%減）、木材（同 8.2%減）、パルプ（同 18.2%減）がいずれも2か月ぶり、紙類及び同製品（同 12.4%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、米国から（同 15.1%増）が2か月ぶり、EUから（同 24.5%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、アジアから（同 27.1%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
輸入総額(百万円)	107,048	114,062	117,020	122,779	113,523	148,198	110,686	102,886
前年同月比(%)	▲16.5	▲14.2	▲18.1	▲12.3	▲23.4	8.6	▲16.8	▲22.8

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
魚介類及び同調製品	▲16.0	▲4.8	▲29.4	▲38.6	▲25.3	▲11.1	10.5	▲6.6
木材	▲32.3	▲33.4	▲36.6	▲26.3	2.5	▲37.0	45.0	▲8.2
パルプ	▲40.9	1.3	▲48.9	▲19.8	▲57.3	▲50.9	8.1	▲18.2
紙類及び同製品	5.9	35.2	▲11.1	16.1	▲28.3	33.6	▲18.8	▲12.4
原動機	▲11.8	23.4	▲13.9	▲11.0	29.8	36.2	64.3	20.7
自動車の部分品	25.5	28.1	17.4	28.8	40.1	39.0	39.9	31.9

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
アジア	▲2.5	▲24.0	▲14.3	▲8.0	▲2.5	▲12.5	4.6	▲27.1
米国	13.0	▲30.6	34.3	2.2	▲71.4	353.9	▲72.3	15.1
EU	▲31.7	▲12.0	8.2	▲20.5	▲44.7	▲42.9	15.6	24.5

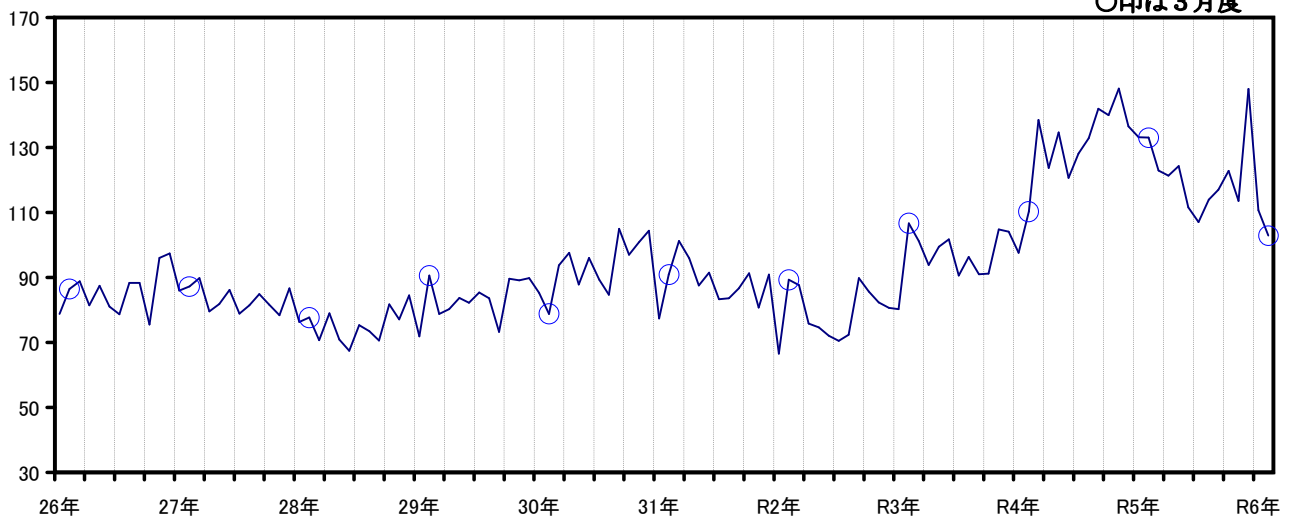
<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は3月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

3月 = 93.5

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 4.8%減

*前年同月比(原指数) : 8.6%減

<概況>

3月の鉱工業生産指数(総合)は93.5(季節調整済指数)で、前月比は4.8%減と、2か月ぶりに減少した。また、前年同月比(原指数)は8.6%減と、2か月ぶりに前年水準を下回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比13.5%減)、化学(同4.1%減)、パルプ・紙・紙加工品(同3.7%減)がいずれも3か月ぶり、電気機械(同23.3%減)が4か月連続、輸送機械(同4.3%減)が2か月ぶり、食料品・たばこ(同5.8%減)が10か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
指数	97.0	96.4	103.5	101.2	99.5	91.5	98.2	93.5
前月比(%)	▲3.1	▲0.6	7.4	▲2.2	▲1.7	▲8.0	7.3	▲4.8
前年同月比(%)	▲4.9	▲8.8	0.5	▲1.2	▲6.5	▲3.1	3.3	▲8.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲4.4	▲4.4	1.1	▲1.4	▲1.0	▲1.5	▲3.9	▲6.2

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲2.5	▲5.1	0.2	▲7.5	▲5.6	1.5	24.9	▲13.5
電気機械工業	▲14.3	▲25.4	▲1.0	1.5	▲4.2	▲6.6	▲8.3	▲23.3
輸送機械工業	0.8	2.4	10.9	4.0	4.7	▲2.0	9.5	▲4.3
化学工業	▲4.9	▲18.5	▲6.6	▲10.1	▲30.4	2.3	7.5	▲4.1
パルプ・紙・紙加工品工業	▲2.3	▲5.1	▲5.0	▲1.0	▲1.0	0.8	1.6	▲3.7
食料品・たばこ工業	▲5.7	▲4.9	▲0.3	▲1.4	▲4.2	▲7.6	▲1.8	▲5.8

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

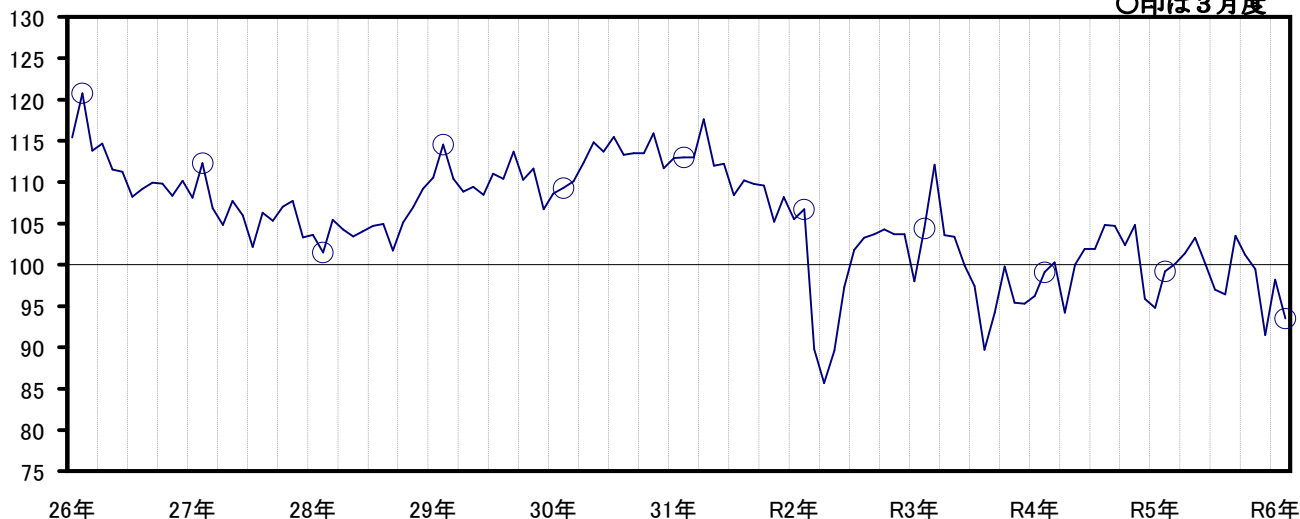
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計調査課

○印は3月度



(2) 鋳工業在庫指数

3月 = 105.9

(令和2年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.9%増

*前年同月比(原指数) : 0.6%増

<概況>

3月の鋳工業在庫指数(総合)は105.9(季節調整済指数)で、前月比は1.9%増と、2か月連続で増加した。また、前年同月比(原指数)は0.6%増と、2か月連続で前年水準を上回った。
 なお、在庫動向を在庫循環図で見ると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。
 業種別にみると、電気機械(前年同月比4.3%減)、化学(同0.6%減)がいずれも7か月連続、輸送機械(同8.7%減)が9か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同8.4%増)が4か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同2.3%増)が5か月連続、食料品・たばこ(同1.8%増)が2か月ぶりに前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
指数	105.4	104.2	104.0	105.5	105.1	101.9	103.9	105.9
前月比(%)	2.5	▲1.1	▲0.2	1.4	▲0.4	▲3.0	2.0	1.9
前年同月比(%)	3.1	1.2	▲0.4	▲2.3	0.2	▲1.4	1.0	0.6
(参考)全国前年同月比(%)	3.2	0.2	1.0	1.0	▲0.2	▲1.8	▲1.7	▲1.0

(注)令和2年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
はん用・生産用・業務用機械工業	18.8	12.6	16.0	▲7.9	15.3	7.7	31.2	8.4
電気機械工業	1.2	▲6.6	▲10.4	▲5.8	▲5.4	▲4.0	▲0.4	▲4.3
輸送機械工業	▲6.2	▲4.1	▲12.5	▲9.4	▲8.3	▲7.4	▲20.0	▲8.7
化学工業	2.0	▲1.7	▲7.4	▲6.8	▲10.3	▲13.2	▲3.7	▲0.6
パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.3	1.0	▲0.2	2.7	2.3	2.2	1.1	2.3
食料品・たばこ工業	1.2	0.9	6.4	5.9	3.6	3.4	▲0.8	1.8

(注)令和2年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

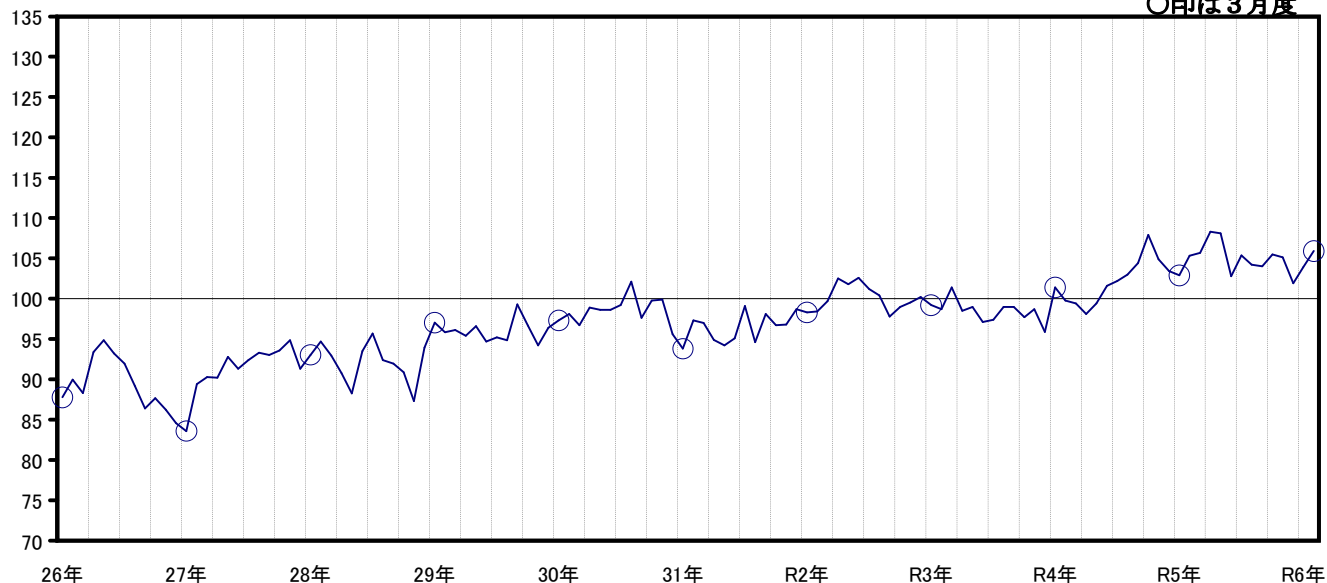
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計調査課

○印は3月度



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

3月 = 1.18倍

*前月比(季節調整値) : 0.02ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概況>

3月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.18倍となり、前月を0.02ポイント下回った。38か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.10ポイント下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比8.3%減)は2か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、情報通信業(前年同月比40.7%増)が6か月連続、運輸業・郵便業(同14.2%増)が2か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同2.5%減)が4か月ぶり、製造業(同6.2%減)が17か月連続、卸売業・小売業(同51.3%減)が3か月ぶり、医療・福祉(同1.8%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同5.8%減)がいずれも3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
県	1.20	1.19	1.20	1.21	1.21	1.21	1.20	1.18
全 国	1.29	1.29	1.30	1.28	1.27	1.27	1.26	1.28

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
建設業	▲3.0	2.8	▲16.5	▲1.0	14.9	2.5	7.5	▲2.5
製造業	▲15.8	▲12.4	▲14.7	▲10.5	▲9.6	▲7.6	▲9.5	▲6.2
情報通信業	15.9	▲13.8	23.3	3.5	43.0	26.8	8.0	40.7
運輸業・郵便業	▲4.5	▲2.5	1.0	▲2.2	24.0	▲13.9	10.6	14.2
卸売業・小売業	▲4.4	▲13.6	67.3	▲2.1	▲35.0	96.2	1.8	▲51.3
医療・福祉	▲2.5	▲10.5	▲4.6	2.9	0.8	▲8.0	▲3.0	▲1.8
サービス業(他に分類されないもの)	12.2	4.1	▲12.6	▲4.2	8.7	▲12.7	▲2.9	▲5.8
合 計	▲3.9	▲7.9	▲0.1	▲4.5	▲1.2	3.9	▲0.2	▲8.3

(注)学卒、パートタイムを除く

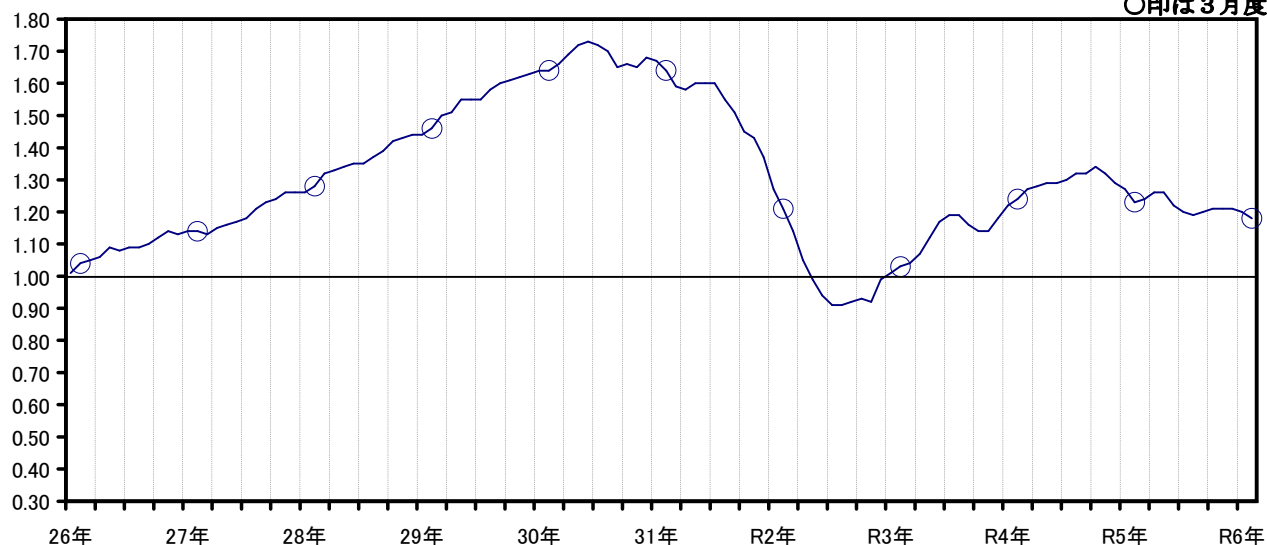
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省

○印は3月度



(2) 雇用保険受給者実人員

3月 = 10,594人

*前月比: 5.1%減

*前年同月比: 2.8%増

<概況>

3月の雇用保険受給者実人員は10,594人で、前月比は5.1%減と、5か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は2.8%増と12か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.6%と前月と同水準であった。

静岡県(令和5年10~12月)の完全失業率は1.9%で、前期(令和5年7~9月)から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
実人員(人)	13,329	12,705	12,813	12,014	11,597	11,466	11,160	10,594
前月比(%)	4.9	▲4.7	0.9	▲6.2	▲3.5	▲1.1	▲2.7	▲5.1
前年同月比(%)	6.1	6.0	13.8	11.0	9.9	8.9	9.6	2.8
(参考)全国前年同月比(%)	3.4	2.6	7.9	6.0	4.5	5.6	5.7	0.6

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
完全失業率(全国)(%)	2.7	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4	2.6	2.6

(注)季節調整値

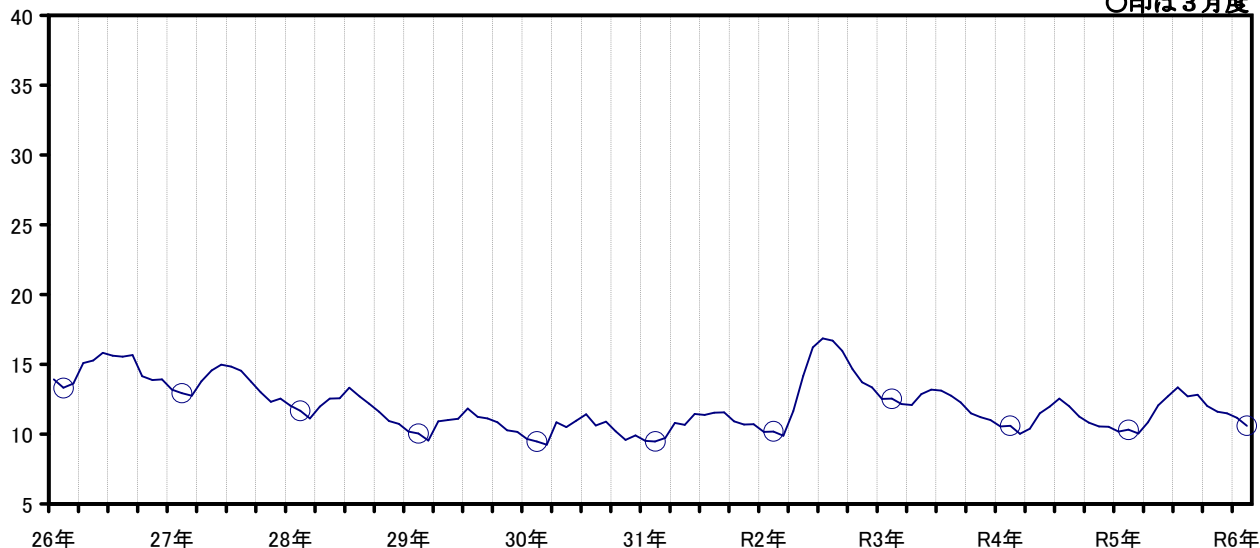
<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省

○印は3月度



(3) 所定外労働時間指数

2月 = 117.5

*前月比(季節調整済指数): 7.1%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 2.5%増

<概況>

2の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は117.5(季節調整済指数)で、2か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は2.5%増と、2か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比44.9%減)、医療・福祉(同18.8%減)がいずれも4か月連続、運輸業・郵便業(同18.0%減)が2か月連続、卸売業・小売業(同6.0%減)が14か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業(同2.6%増)が3か月ぶり、その他のサービス業(同15.3%増)が2か月連続で前年実績を上回った。製造業は前年と同水準となった。

<最近の動き>

	R5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月
指数	119.6	116.6	124.7	125.6	120.8	119.1	126.5	117.5
前月比(%)	▲5.9	▲2.5	6.9	0.7	▲3.8	▲1.4	6.2	▲7.1
前年同月比(%)	2.5	0.0	4.1	3.2	1.6	▲1.5	7.4	2.5
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.8	▲0.9	▲1.7	▲0.9	▲2.4	▲4.0	▲4.2	▲2.5

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月
建設業	18.7	▲14.6	19.9	▲17.6	17.2	▲22.7	0.0	2.6
製造業	0.0	2.2	0.7	1.9	3.2	2.6	▲0.7	0.0
情報通信業	▲17.1	17.5	10.4	10.4	▲4.2	▲11.7	▲30.9	▲44.9
運輸業・郵便業	7.3	7.4	2.3	8.0	11.4	11.6	▲15.8	▲18.0
卸売業・小売業	▲23.2	▲32.6	▲23.2	▲22.1	▲13.0	▲6.8	▲3.9	▲6.0
医療・福祉	4.3	1.4	8.1	4.2	▲11.2	▲20.5	▲27.2	▲18.8
その他のサービス業	▲15.2	▲7.7	▲12.7	▲17.4	▲24.2	▲22.2	35.4	15.3
調査産業計	2.5	0.0	4.1	3.2	1.6	▲1.5	7.4	2.5

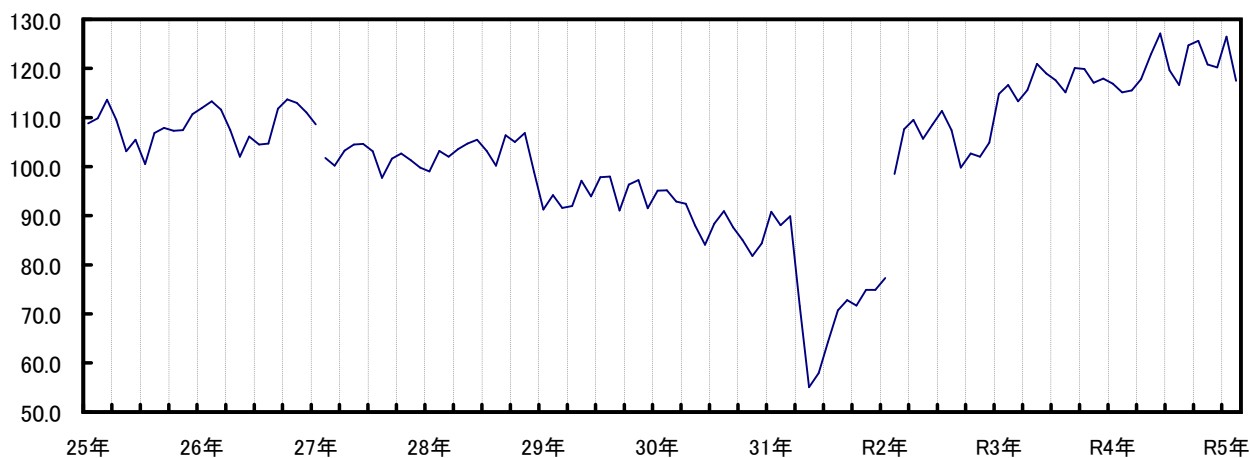
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

4 月 = 121.2

*前 月 比: 0.3%上昇

(令和2年=100)

*前年同月比: 0.9%上昇

<概 況>

4月の国内企業物価指数は121.2となり、前月比は0.3%の上昇となった。また、前年同月比は0.9%の上昇となった。

	R 5年9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月
国内企業物価指数	119.6	119.5	119.8	120.2	120.2	120.5	120.8	121.2
前 月 比 (%)	▲ 0.2	▲ 0.1	0.3	0.3	0.0	0.2	0.2	0.3
前年同月比 (%)	2.2	1.1	0.5	0.3	0.3	0.8	0.9	0.9

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

2 月 = 142,386億円

*前 月 比: 0.1%増

(銀行、信用金庫)

*前年同月比: 0.4%減

<概 況>

2月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は142,386億円で、前月比とは0.1%の増加となった。また、前年同月比は0.4%の減少となった。

	R 5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月
貸出残高(億円)	142,257	142,029	142,841	142,035	142,268	143,418	142,309	142,386
前 月 比 (%)	▲ 0.3	▲ 0.2	0.6	▲ 0.6	0.2	0.8	▲ 0.8	0.1
前年同月比 (%)	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 0.4

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

2 月 = 1.253%

*前 月 差: 0.001ポイント減

(県内地銀4行総平均)

*前年同月差: 0.043ポイント減

<概 況>

2月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.253%で、前月から0.001ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.043ポイントのマイナスとなった。

	R 5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月
貸出約定金利(%)	1.272	1.269	1.266	1.265	1.260	1.254	1.254	1.253
前月差(ポイント)	▲ 0.007	▲ 0.003	▲ 0.003	▲ 0.001	▲ 0.005	▲ 0.006	0.000	▲ 0.001
前年同月差(ポイント)	▲ 0.057	▲ 0.053	▲ 0.053	▲ 0.051	▲ 0.048	▲ 0.049	▲ 0.044	▲ 0.043

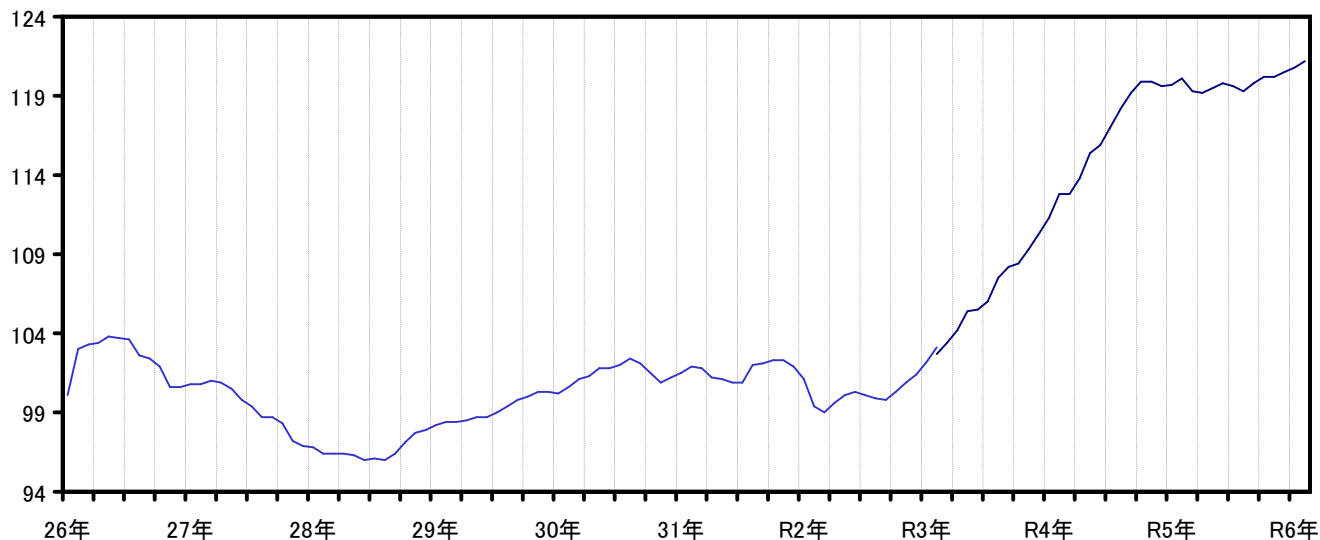
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

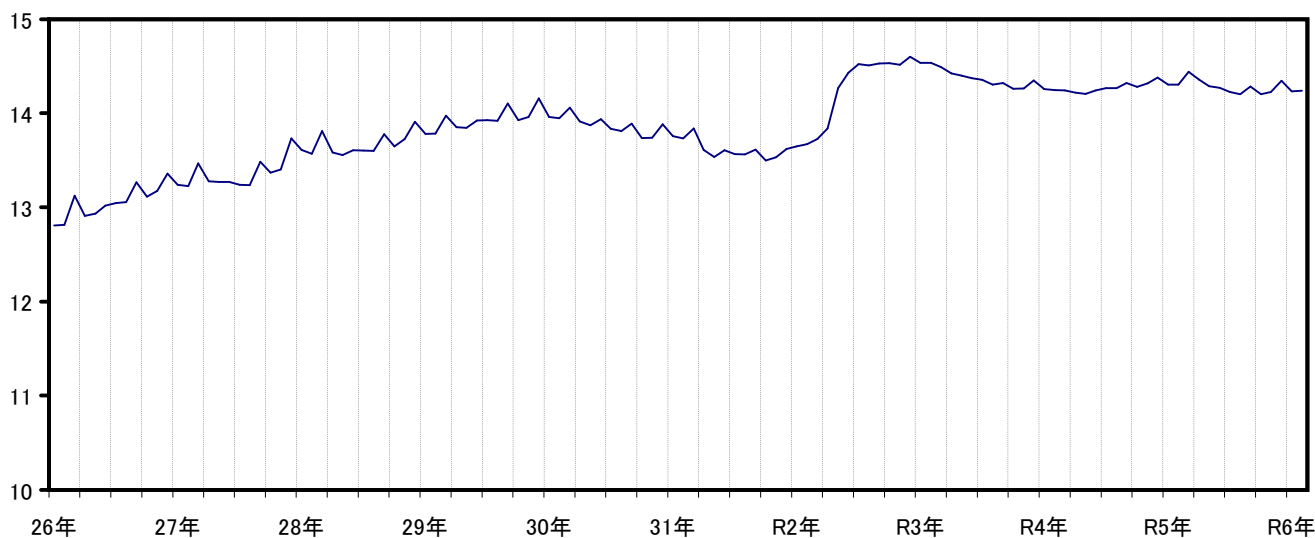
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



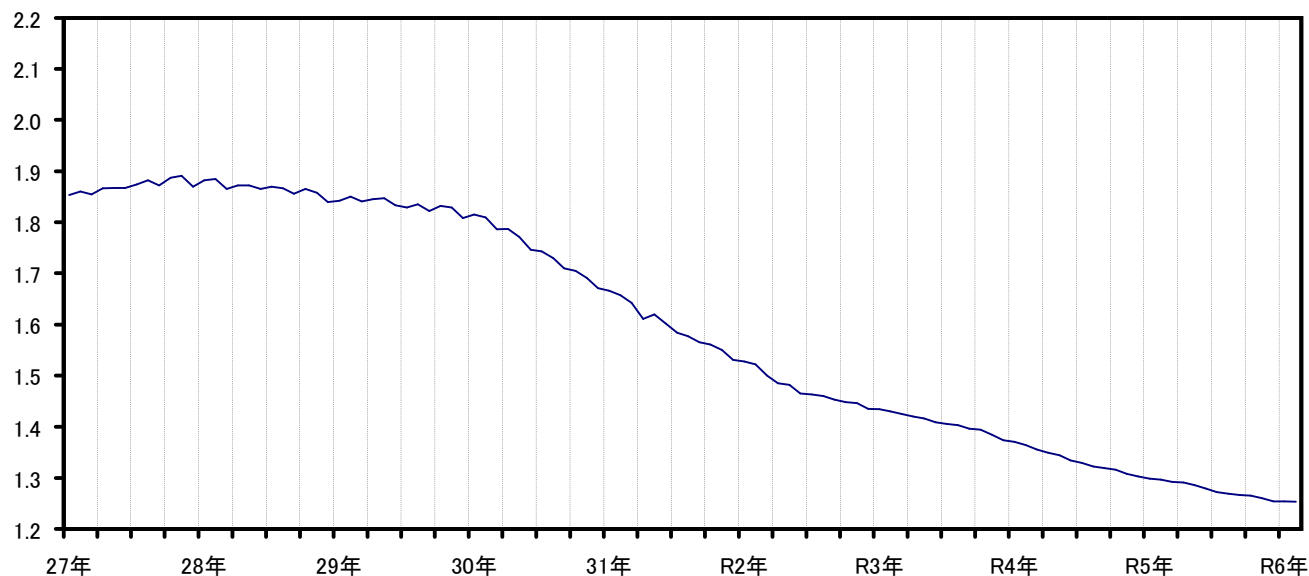
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**3月 = 39,164百万円**

*前年同月比： 8.9%増

<概況>

3月の保証承諾は、金額は39,164百万円（前年同月比 8.9%増）、件数は2,561件（同 4.2%増）と、いずれも前年実績を上回った。

	R 5年8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月
保証金額（百万円）	26,616	23,777	22,088	25,577	31,745	21,251	24,291	39,164
前年同月比（%）	4.7	▲ 11.1	24.0	6.9	▲ 1.6	20.1	10.8	8.9
保証件数（件）	1,971	1,860	1,670	1,763	2,240	1,535	1,794	2,561
前年同月比（%）	0.6	▲ 13.2	10.6	▲ 3.7	▲ 3.8	10.2	6.7	4.2

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**4月 = 153.43円/ドル**

*前月差： 3.80円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 20.10円安

<概況>

4月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は153.43円で、前月と比べて3.80円の円安となり、4か月連続で円安となった。

<最近の動き>

	R 5年9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月
平均相場（円）	147.67	149.53	149.83	144.07	146.57	149.42	149.63	153.43
前月差（円）	2.90	1.86	0.30	▲ 5.76	2.50	2.85	0.21	3.80
前年同月差（円）	4.53	2.52	7.39	9.14	16.37	16.74	15.78	20.10

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****3月 = 18件**

*前年同月比： 40.0%減

<概況>

3月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は18件（前年同月比 40.0%減）と前年実績を下回り、負債総額は4,633百万円（同 26.2%増）と前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が15件と全体の83.3%を占め、20か月連続で50%以上となっている。

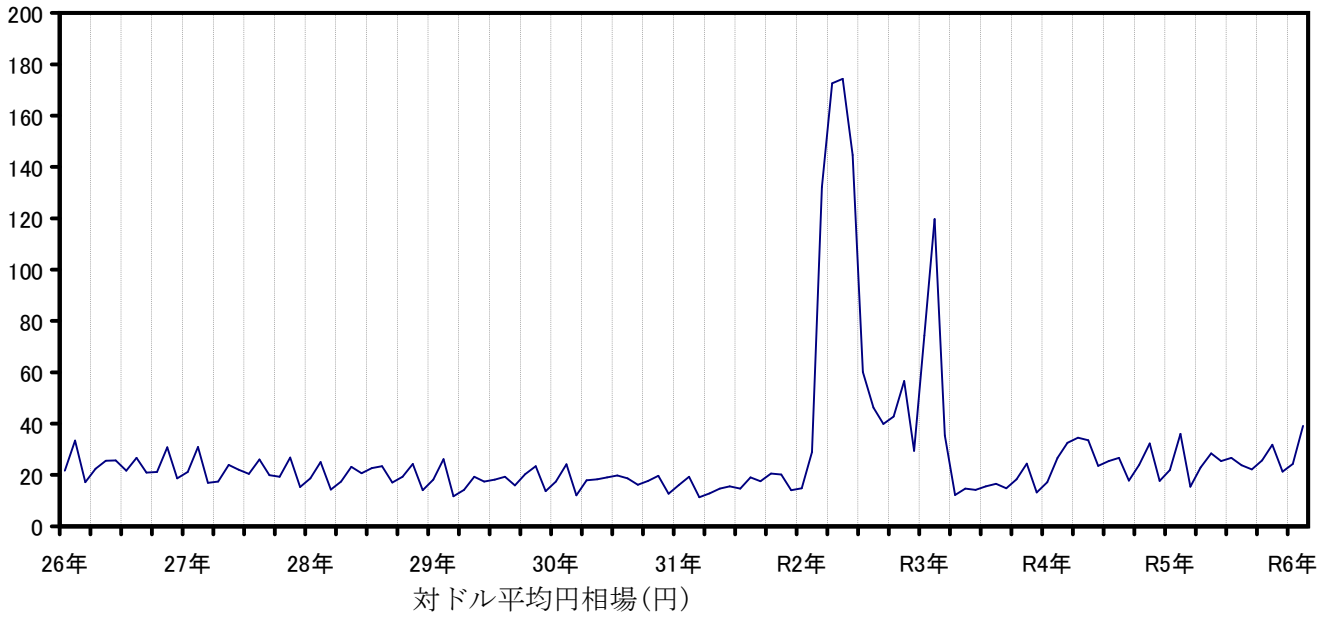
	R 5年8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月
倒産件数（件）	15	31	17	19	19	15	9	18
前年同月比（%）	66.6	93.7	▲ 22.7	35.7	5.5	▲ 21.0	▲ 52.6	▲ 40.0
うち不況型倒産件数（件）	13	25	13	17	14	10	8	15
負債総額（百万円）	2,247	1,666	6,592	2,885	2,062	1,219	990	4,633
前年同月比（%）	8.0	34.3	152.2	▲ 79.6	▲ 26.6	▲ 39.5	▲ 26.9	26.2

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

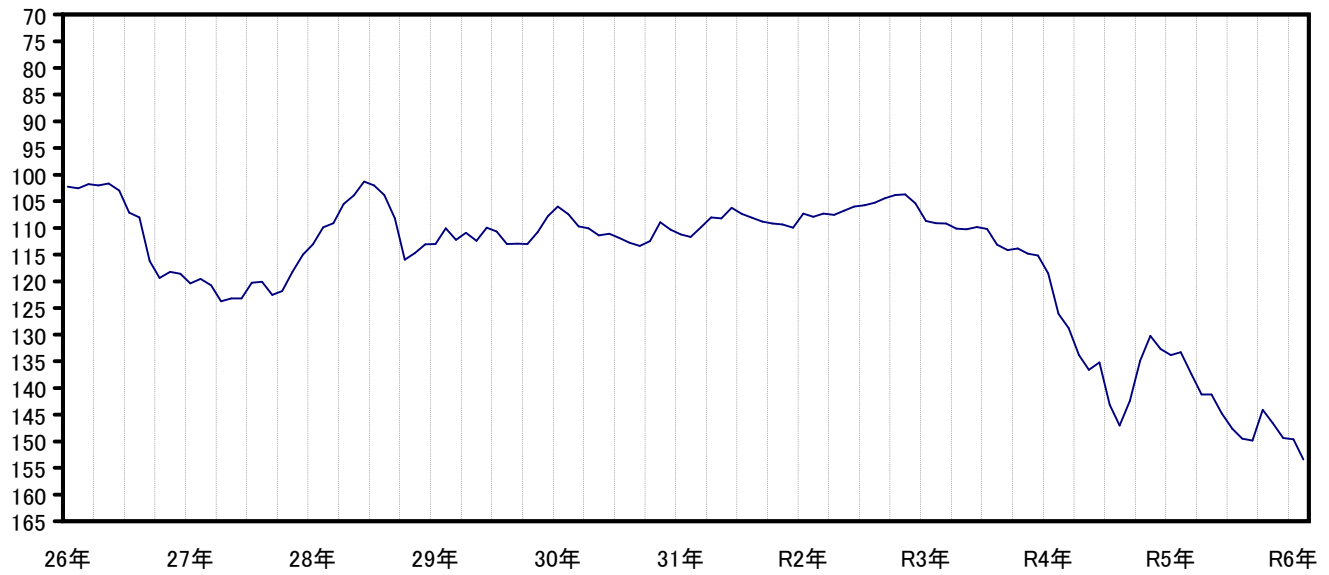
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

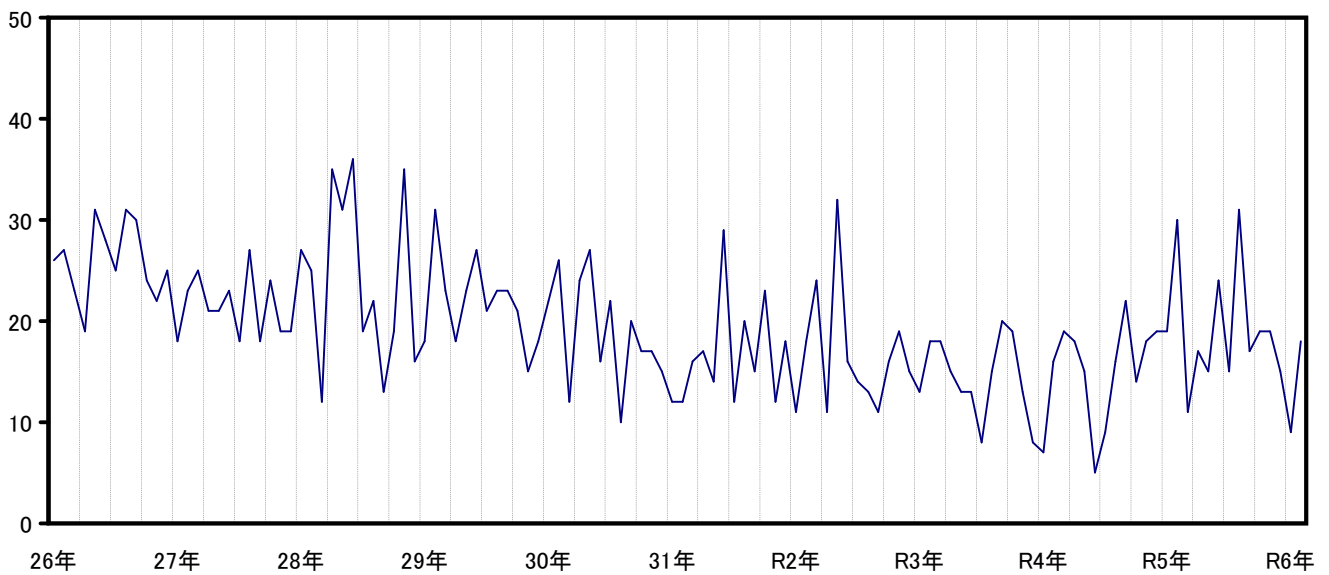


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和6年3月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>2月の国内二輪車生産台数は、57,225台（前年同月比1.9%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、9,000台（同18.7%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,489台（同16.9%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,089台（同15.3%減）で4か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、41,647台（同11.8%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、27,343台（同16.5%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、45,037台（同17.3%増）で、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>2月の自動車国内生産台数は、616,763台（前年同月比 16.5%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。輸出は350,166台（同 11.8%増）と、13か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが9か月連続、乗用車が2か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>3月の冷蔵庫の国内出荷額は384億円（前年同月比0.3%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数も348千台（同 5.0%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>3月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,048千台（同 3.2%減）で、7か月ぶりに前年実績を下回った。業務用は68千台（同5.6%減）で、3か月ぶり前年実績を下回った。</p> <p>3月の携帯電話の国内出荷台数は、538千台（同 53.8%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、390千台（同 49.0%減）で、18か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は72.4%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>3月の工作機械の受注総額は、1,356億5,000万円（前年同月比 3.8%減）で、15か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は863億9,300万円（同 5.7%減）で、15か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが385億5,400万円（同 7.5%減）で、15か月連続で前年実績を下回った。内需は492億5,700万円（同 0.2%減）で、19か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内関連団体からは、「EV、再生可能エネルギー、労働生産性向上などに関連した需要が拡大しているものの、部材・エネルギー価格の高止まりや中国、米国などの景気低迷の影響などにより厳しい状況が続いている。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

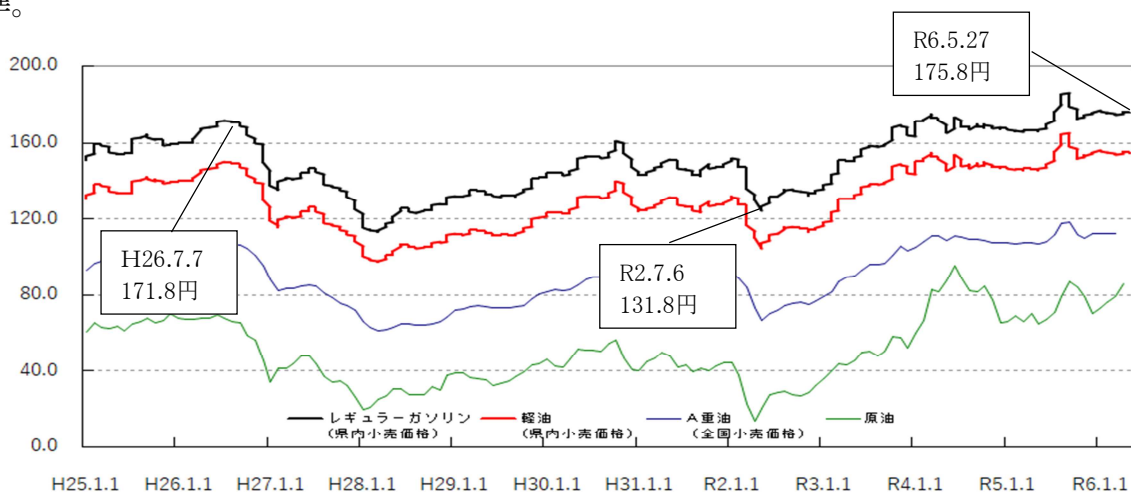
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>3月の県内楽器メーカーの販売金額は、64億5,911万円（前年同月比15.3%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが41億104万円（同19.6%増）で、3か月連続で前年実績を上回り、国内向けが23億5,807万円（同8.4%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>ピアノ生産台数は2,720台（同21.9%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,547台（同34.1%減）、グランドピアノが1,173台（同3.2%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,110台（同12.7%減）で、9か月連続で前年実績を下回り、国内向けが932台（同31.5%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>3月の紙・板紙の国内出荷高は、1,751千トﾝ（前年同月比8.9%減）で、19か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は842千トﾝ（同9.3%減）で、19か月連続で前年実績を下回った。板紙は908千トﾝ（同8.5%減）と、18か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、432千トﾝ（同14.0%減）で、19か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、169千トﾝ（同5.7%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶 詰・飲 料	<p>3月の県内生産量は、食缶類が国内向け880千箱（前年同月比14.0%減）14か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は650千箱（同6.3%減）で2か月ぶりに前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は418千箱（同5.6%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は230千箱（同30.1%減）で6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,231千箱（同3.2%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>3月の広幅織物の県内生産は、928千㎡（前年同月比31.2%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、881千㎡（同35.3%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、47千㎡（同16.5%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、18千㎡（同1.1%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>3月の全国百貨店での家具販売額は、54億870万円（前年同月比9.5%増）で2か月ぶりに前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、514億9,536万円（同5.0%減）で2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>3月の県内百貨店・スーパーの販売額は、38,742百万円（既存店前年同月比3.6%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、衣料品及び身の回り品が前年同月の実績を下回ったものの、飲食料品及び家庭用品が前年同月の実績を上回った。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。衣料品、家庭用品及び雑貨（化粧品、美術・宝飾・貴金属等）の売上げが好調だった一方で、食料品の売上げは不調だった。</p> <p>東部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。特に、食料品や映画館等サービス施設の売上げが好調だった。一方で、寒暖差の影響により季節ものの衣料品の売上げが不調だった。</p> <p>西部の食品スーパーへの聞き取りによると、売上げ及び来客数は前年同月並みであった。物価高騰の影響により、青果、精肉及び弁当・惣菜の販売価格が上昇した。特に精肉においては、販売価格が上昇した影響により買い控えが見られた。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和6年3月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約36万人で、前年同月比29.8%減となった。</p> <p>主な要因は、一部施設の工事休館による影響や、歴史文化施設への入込客の減少に加え、コロナによる規制が緩和され、アウトドアやイベントなど、旅行の選択肢が増えたことなどである。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約65万台となり、前年同月比0.2%増となった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 静岡県観光政策課</p>

<原油高の状況について>

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー175.8円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター

Ⅳ データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月
完成車生産台数(台)	16,417	18,694	27,567	28,264	28,959	24,847	22,101	24,131	24,763
前年同月比(%)	▲ 37.6	▲ 30.0	▲ 7.4	▲ 1.6	▲ 3.7	▲ 7.8	▲ 9.8	▲ 10.1	▲ 10.1
KD輸出額(百万円)	1,350	874	1,005	1,319	1,441	1,704	1,413	1,567	1,238
前年同月比(%)	36.5	▲ 3.5	▲ 16.7	▲ 19.2	▲ 11.8	8.4	▲ 5.3	▲ 0.6	▲ 25.5

<楽 器>

	R 5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月
生産総額(百万円)	3,738	2,919	3,484	3,614	3,510	3,719	2,913	3,545	3,573
前年同月比(%)	16.6	13.0	7.0	9.4	7.1	14.9	3.0	7.6	1.3

<缶 詰>

	R 5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月
食缶生産高(千ケース)	1,021	954	962	940	1,023	931	855	910	880
前年同月比(%)	▲ 9.4	▲ 12.1	▲ 8.8	▲ 18.6	▲ 10.2	▲ 16.3	▲ 6.4	▲ 0.1	▲ 14.0
うち水産缶詰(%)	▲ 9.7	▲ 18.1	▲ 13.0	▲ 23.3	▲ 13.0	▲ 19.9	▲ 0.8	12.6	▲ 6.3
農畜産缶詰(%)	▲ 8.4	5.0	2.5	▲ 3.9	▲ 2.4	▲ 6.2	▲ 18.4	▲ 25.2	▲ 30.1
飲料缶生産高(千ケース)	7,353	7,092	7,151	6,618	7,029	6,359	5,292	6,130	7,231
前年同月比(%)	▲ 7.2	▲ 6.0	10.9	▲ 6.8	9.6	▲ 1.8	4.5	0.0	▲ 3.2

<織 維>

	R 5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月
広幅織物(千㎡)	676	674	801	867	1,049	1,000	983	932	928
前年同月比(%)	▲ 8.2	▲ 0.9	2.0	11.2	16.2	34.0	31.5	34.8	31.2
小幅織物(千㎡)	19	15	18	18	18	19	16	16	18
前年同月比(%)	23.7	12.8	16.1	13.0	8.3	▲ 5.0	1.2	0.7	▲ 1.1

<観 光>

	R 5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,820	2,435	1,724	1,707	1,841	1,802	1,659	1,787	2,091
前年同月比(%)	7.2	1.2	13.1	14.3	8.0	6.0	17.1	22.9	9.3
観光施設(10施設)入込 (千人)	347	439	376	470	458	334	245	232	361
前年同月比(%)	19.9	▲ 8.8	24.6	6.4	13.9	5.6	▲ 33.5	▲ 31.4	▲ 29.8
有料道路(4路線)通行 量(千台)	626	693	584	604	621	613	564	575	645
前年同月比(%)	2.8	▲ 1.7	4.0	▲ 1.4	2.0	▲ 1.0	2.9	3.3	0.2

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和6年5月号 通巻577号

発行 静岡県経済産業部
令和6年5月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/index.html>